

2 支えあう福祉のまちづくり

「高齢者や障害者が地域で安心して
生きがいを持って生活できるまち」をめざします。
そのため、地域で支えあう福祉をすすめます。

主な 計画事業



介護の予防

介護予防の教室

高齢者が介護を必要とする状態にならないようにするため、保健師などが家庭を訪問し、相談に応じたり、地域の身近な施設でリハビリ教室などを実施し、日常生活の自立を援助します。



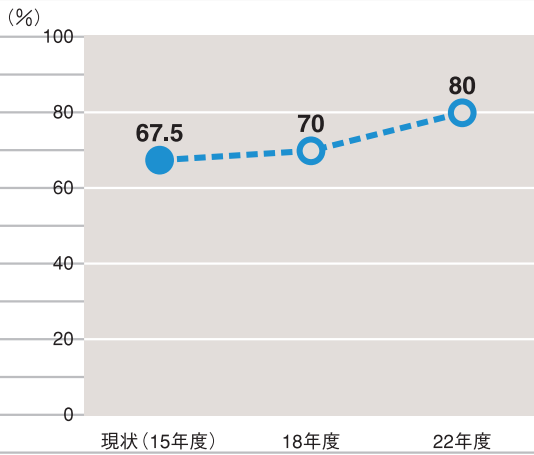
授産施設等の確保

知的障害者通所授産施設

障害者が働く機会を得て自活することができるよう作業訓練や指導を行う場を確保します。

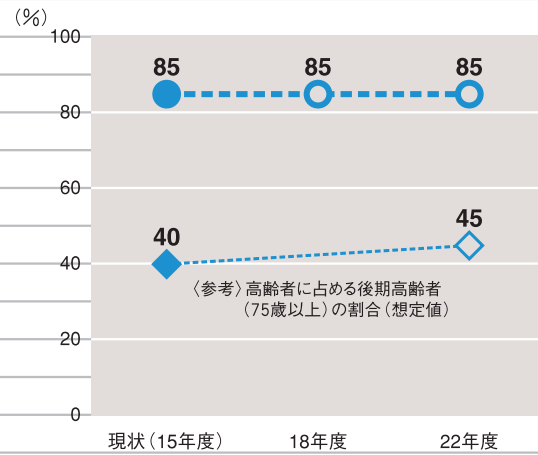
主な 数値目標

地域での支えあい活動に関心のある市民の割合



地域における支えあいの仕組みづくりへの意識を高め、支えあいの活動の担い手を増やします。

日常生活が自立している高齢者の割合



今後、75歳以上の後期高齢者の増加が予測される中で、要支援・要介護に該当しない日常生活が自立している高齢者の割合を維持します。



地域住民によるふれあい交流活動



地域福祉の推進

公民協働により多様なサービスを提供できる体制を整備するための計画を策定し、市民一人ひとりが安心して生活できるよう地域で支えあう仕組みづくりを推進します。

● 配食サービス事業